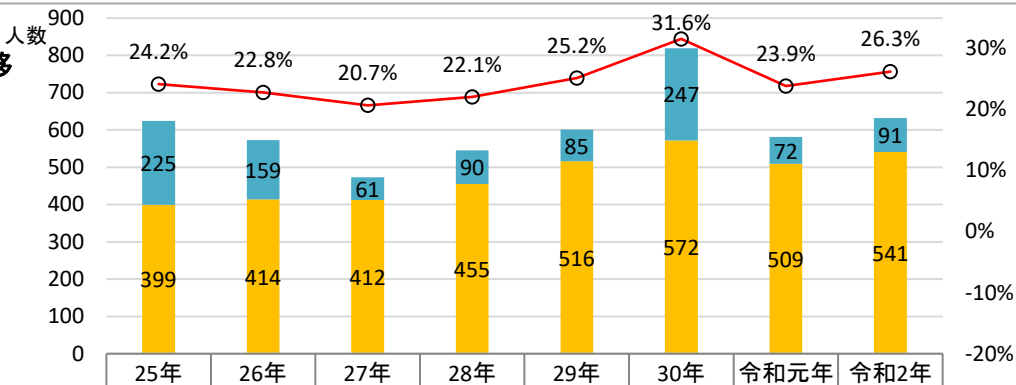


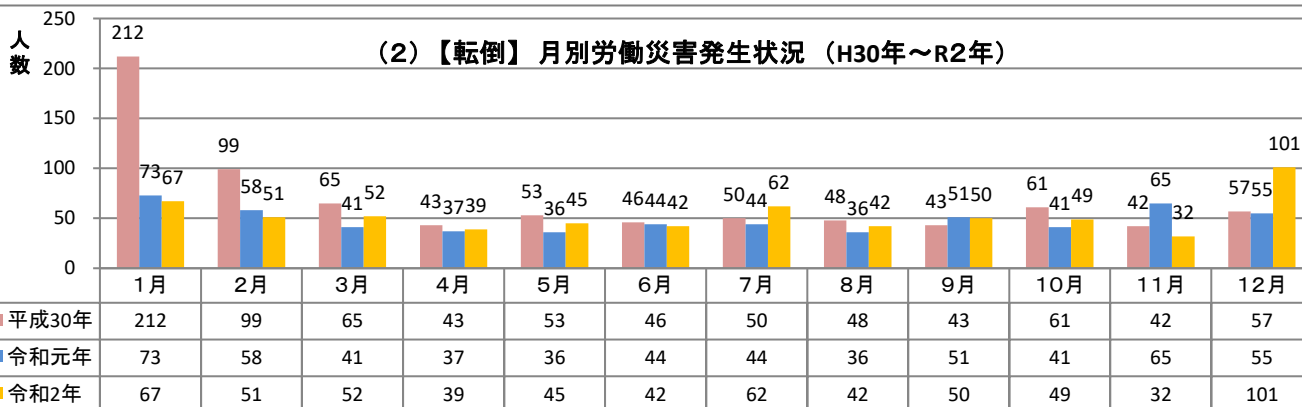
23.転倒災害の状況（令和2年）

(1) 転倒災害・年別推移 (H25年～R2年)



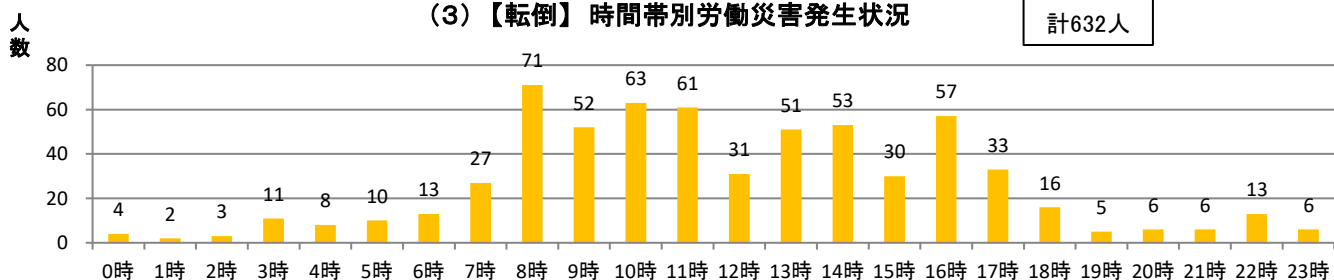
	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年
風雪等環境原因による転倒	225	159	61	90	85	247	72	91
風雪等以外による転倒	399	414	412	455	516	572	509	541
合計	624	573	473	545	601	819	581	632
全災害に占める転倒災害割合	24.2%	22.8%	20.7%	22.1%	25.2%	31.6%	23.9%	26.3%

(2) 【転倒】月別労働災害発生状況 (H30年～R2年)

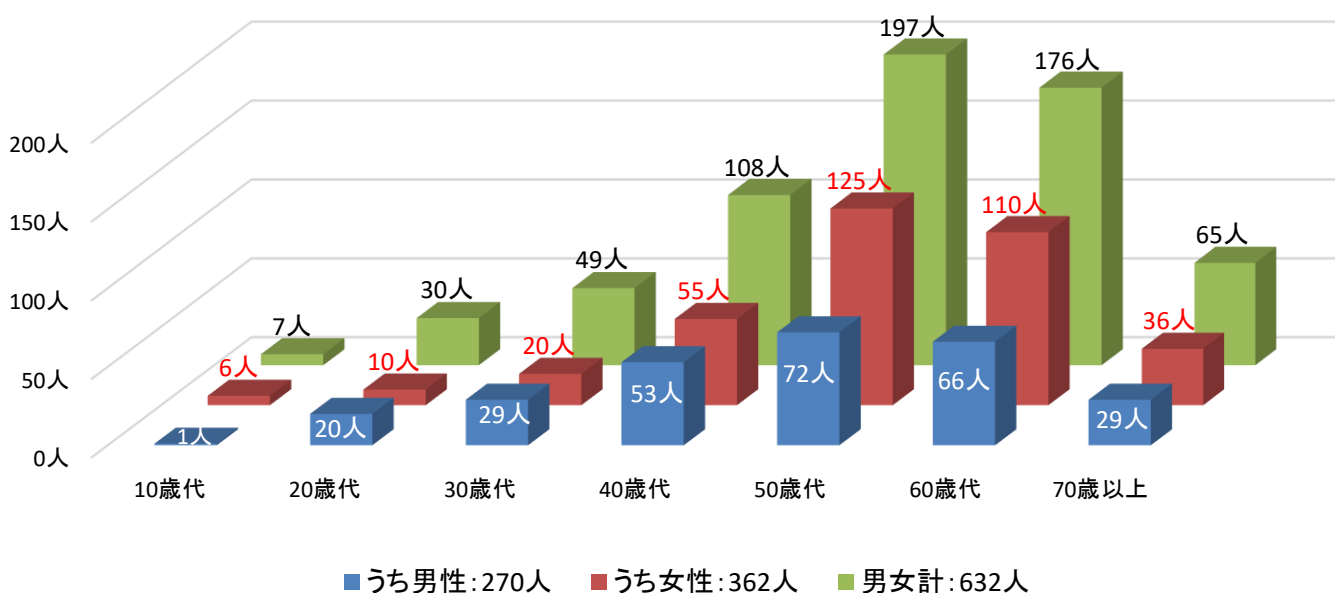


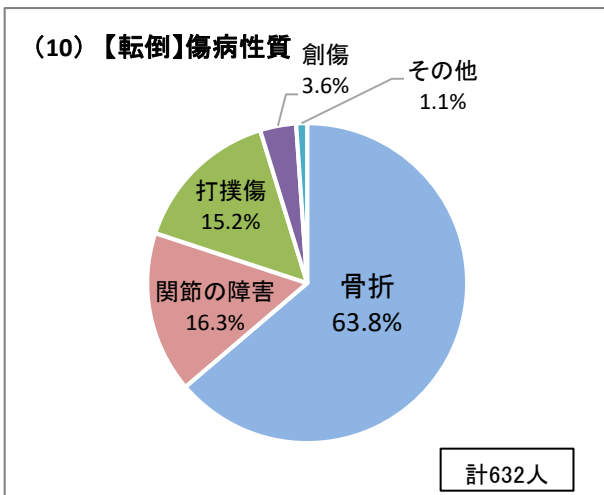
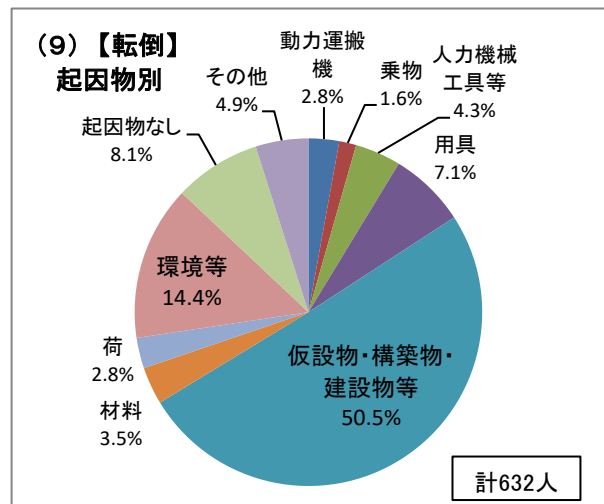
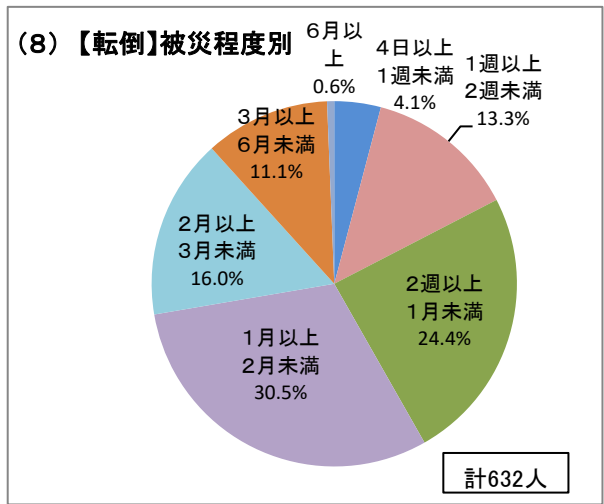
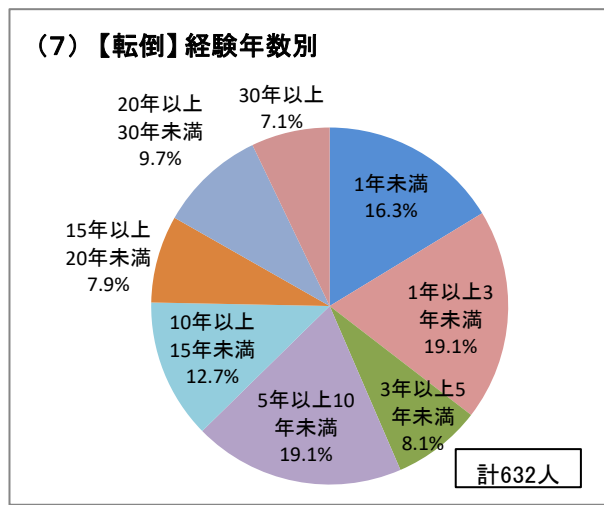
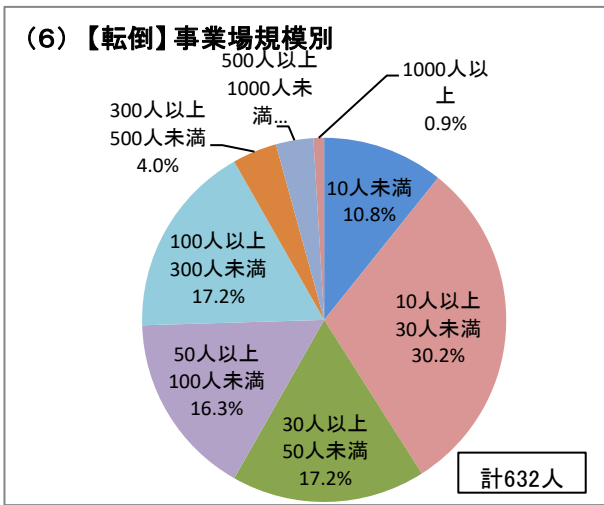
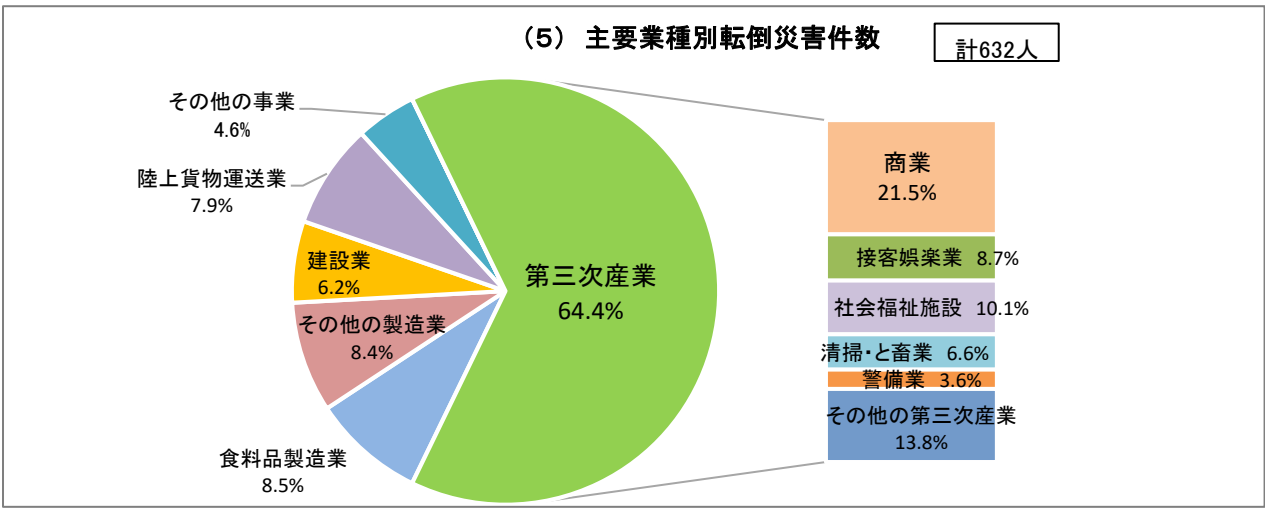
(3) 【転倒】時間帯別労働災害発生状況

計632人



(4) 【転倒】年齢別・男女別





1. 令和2年の転倒災害発生件数は、前年比で51人(8.8%)増加しており、特に「風雪等環境原因による転倒」について19件増加している。全労働災害に占める転倒災害の割合も26.3%と前年よりも2.4%増加している。
2. 月別の発生状況は、12月に降雪量が多かったことから、積雪・凍結した路面での転倒により増加した。
3. 時間帯別では、日中の勤務時間帯の発生頻度が多い中であっても、積雪・凍結の影響により入社直後の午前8時台が最も多くなっている。
4. 年齢別では、50歳以上が全体の7割近くを占め、女性の発生件数が男性より3割程度多い状況となっている。
5. 業種別では、「第三次産業」が64.4%を占めている。また、「第三次産業」の内訳は商業21.5%、社会福祉施設10.1%等となっている。
6. 事業場規模別では、50人未満の事業場の割合が58.2%となっている。
7. 経験年数別では、3年未満の労働者の割合が29.4%となっている。
8. 休業見込み別では、転倒により休業見込みが1か月以上となるものの割合が58.2%となっている。
9. 起因物別では、「仮設物・構築物・建設物等」(通路、廊下、足場等に起因するもの)50.5%、「環境等」(積